

震災後の子ども支援(その3)

～地域の暮らしと文化に根ざした心の回復～



日時：2012年10月13日(土) 13:30～16:30

会場：仙台国際センター 2F大会議室「萩」

(仙台市青葉区青葉山無番地)

※仙台駅より、市営バスで11分(仙台駅西口9番乗り場～博物館・国際センター前)

またはタクシーで7分。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

参加費：無料 (定員225人)

<基調講演>-日本語通訳付き-

1. 「東日本大震災を振り返って、日本の震災対策への提言」
マルグリット・ブラウ (元プラン・ジャパン「子どもの心のケア」アドバイザー、医師)
2. 「心を支えるとは-WHO版心理的応急処置 (PFA) はなぜ必要か」
レスリー・スナイダー (戦争トラウマ財団、医師)

<シンポジウム>

司会：本郷一夫 (東北大学大学院教育学研究科教授)

話題提供者：

1. 「東日本大震災に学ぶ学校の危機管理体制のあり方」 櫻田博 (宮城県拓桃支援学校校長)
2. 「地域の児童と保護者支援の実践から」 西城敏幸 (気仙沼市立小原木小学校教頭)
3. 「子どもの心のケアと養育支援の現場から」 船野克好 (児童家庭支援センター大洋 心理療法士)

申込み・問合せ先：プラン・ジャパン (03-5481-0030/event@plan-japan.org)

※当日参加も可能ですが、座席確保のため、なるべく事前にお申込みください。お申込みの際は、お名前・所属・連絡先 (TELまたはメール) をお知らせください。

主催：ケア宮城、公益財団法人プラン・ジャパン

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会



主催者のことば

東日本大震災後1年半が経過し、一見平穏な生活を取り戻しつつあるようには見えるものの、傷ついた子どもと大人の心の問題への対応はこれからが本格的課題となってきます。これまでの支援を振り返りながら、今後私たちがとるべき方向を検討し、さらに今後の同種の災害に備えるために、支援者向けのフォーラムを開催します。多くの方々のご参加を期待いたします。

講師・話題提供者の紹介

マルグリット・ブラウ (Margriet Blaauw) 心理社会的緊急支援コンサルタント、医師

心理社会的緊急支援の専門家として、南米諸国やアフガニスタン、カンボジア、イラン、スーダンなど世界各地での活動経験を持つ。東日本大震災後は、プラン・ジャパンの「子どもの心のケア」プログラムアドバイザーとして、被災地で心のケア支援プログラムを担当した。現在はコンサルタントとして活動している。国際保健学修士。

レスリー・スナイダー (Leslie Snider) 戦争トラウマ財団 (War Trauma Foundation)、医師

精神科医として、様々な国際機関を通して世界各地で災害や紛争、搾取、HIV/AIDS、貧困の影響下にある家庭や子どもたちへの心理社会的支援の提供を行なう。テュレーン大学公衆衛生学部国際精神保健学科の運営を担い、現在は、オランダに拠点を置く、戦争トラウマ財団のシニア・プログラム・アドバイザーを務める。

本郷一夫 (ほんごう かずお) 東北大学大学院教育学研究科教授

専門は発達心理学、とりわけ子どもの社会性発達支援。現在、教育学研究科長・教育学部長、臨床発達心理士認定運営機構代表理事。東日本大震災後は、保育所・幼稚園の保育者向け研修会の講師、巡回相談、電話による発達相談に従事している。ケア宮城の役員。

櫻田 博 (さくらだ ひろし) 宮城県立拓桃支援学校校長、宮城県特別支援学校長会会長

特殊教育センター指導主事、特別支援学校教頭、中学校長、特別支援教育室副参事等を経て現在に至る。東日本大震災時は、石巻支援学校長として震災対応や避難所運営に当たり、その経験を踏まえて各種雑誌や講演等で「学校の危機管理体制」について提言している。

西城敏幸 (さいじょう としゆき) 気仙沼市立小原木小学校教頭

小原木小学校在職2年目の終わりの時期に東日本大震災に遭遇。学区内の2地区が津波により壊滅的な被害を受け、当時の1/3の児童が自宅を失った。寸断された自治体との連絡が確立するまでの震災直後の時期に、地域と連携して、児童・保護者・地域に対する「初期の復旧活動」に努めた。

船野克好 (ふなの かつよし) 児童家庭支援センター大洋 心理療法士

岩手県大船渡市にある児童家庭支援センター大洋において、平成13年(開所時)から勤務し、子どもとその家庭に関する相談支援を行う。東日本大震災後には子どもの心のケアや、遺児孤児家庭や里親家庭への支援にも携わる。臨床発達心理士、社会福祉士。

主催団体の紹介

ケア宮城

宮城県内の心のケアに当たる人たちを支援することを目的として、2011年4月に活動を開始。会員は、日本学校心理士会宮城支部会員、日本臨床発達心理士会東北支部会員、宮城県臨床心理士会会員の有志などにより構成されている。現在、要請に応じて、県内各地の学校にて教員向けの心のケアのワークショップなどを実施している。 www.sed.tohoku.ac.jp/~caremiya/

公益財団法人 プラン・ジャパン

国連に公認・登録された国際NGOとして、アジア・アフリカ・中南米50カ国で、子どもたちとともに地域開発を進める。国際的には70年以上の歴史があり、日本事務局の設立は1983年。東日本大震災に際し、設立以来初めて日本国内での緊急・復興支援を展開している。

www.plan-japan.org

